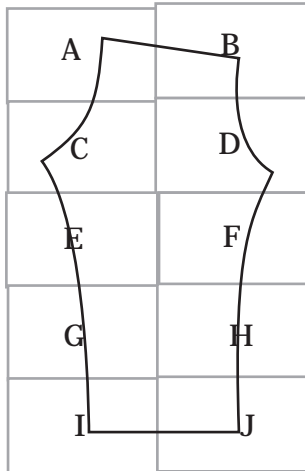


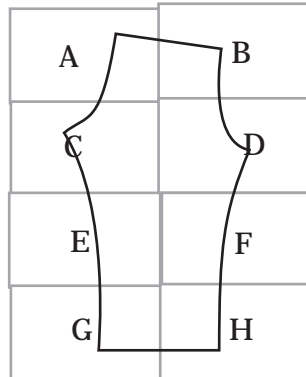
polka drops オリジナルスパッツ レシピ

転載や
二次配布
コピー販売は
禁止です

足首にゆとりがある、履き心地良いノーマルなスパッツです。
何枚あっても良いアイテムです。ニット専用パターンです。
パターンがシンプルなので、ニット初心者の方の練習に、また今回は
あえて縫い代つきパターンではなく、全サイズ記載パターンにしました。
縫い代つきのコツをご紹介しますので、縫い代つきの練習にお使いください。



大人サイズ (M / L)



子どもサイズ (90 ~ 130)

天竺や薄手のスムーズ素材など
テンション中くらいの
扱いやすい素材が適しています。
お好みで裾にレースを使う場合
ストレッチでない普通のレースの方が
形状安定の意味もあり、
扱いやすい場合がございます。

用尺	100cm巾以上	それ以下	付属	平ゴム (15mm巾)	レース (お好みで)
			90	50cm	50cm
90	0.6m	1.2m	100	52cm	55cm
100	0.6m	1.2m	110	54cm	60cm
110	0.7m	1.4m	120	56cm	65cm
120	0.7m	1.4m	130	59cm	70cm
130	0.75m	1.5m	M・L	75cm	80cm
M・L	1.0m	1.9m			

↑
上記の平ゴム寸法は
ゴム上がり寸法に基づいており
寸法を大きくしたい場合は
ゴムも長くご用意ください。

寸法表	ヒップ	股上	股下	裾巾 (一周で)	ゴム上がり寸法
90	58.8	16.2	27.0	22.0	46.0
100	62.6	17.2	30.6	24.0	48.0
110	66.6	18.2	34.1	26.0	50.0
120	70.6	19.2	37.6	28.0	53.0
130	74.8	20.2	41.1	30.0	56.0
M	79.4	27.5	52.7	34.0	63.0
L	83.6	28.5	54.7	36.0	70.0

大人サイズのヒップ寸法が小さく感じますが、脇で繋がっていることや
ニット素材を使うことによるもので、標準体型を元にして作ってあります。

転載や
二次配布
コピー販売は
禁止です

polka drops では工業用パターンを採用しています。

工業用パターンとは、量産用に工場などで採用されているパターンで、（工場の中で）誰が縫っても同じ仕上がりになるように厳密に修正されたパターンのことをいいます。その工業用パターンには、皆に通用するよう決まりごとが沢山あります。決まりごとは誰もが理解しやすいよう工夫されわかりやすいので家庭用にも応用する事ができます。

polka drops のパターンにも、その決まりごとが入っているので、それを理解していただくことは、お客様がそれぞれの家庭で縫う時に、迷いなく縫い進めていただけることに繋がります。

その決まりごとの1つに「縫い代のつけ方」があります。

経験のある人は、縫い代の形状を見ただけで、縫い代手順が理解でき、複雑なアイテムも、迷いなく縫い進める事ができます。

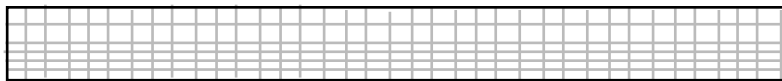
（仕様書などは当然不要になります。）

今回はこの、比較的簡単なスパッツというアイテムを使って、縫い代つけのコツを勉強してみましょう。

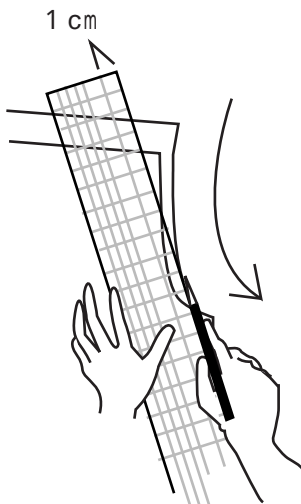
縫い代について

今回はニット素材用パターンに縫い代をつけますが、ニットの場合はもっと簡略化されたものもあります。ここでご紹介する縫い代付けは、布帛素材にもやや応用できる、丁寧な方法をご紹介します。

縫い代つけに便利なアイテム



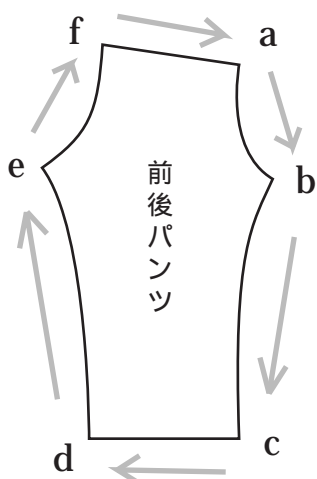
方眼スケール 透明で端から5mm、10mm、12mmなどの位置にラインが入っているものを使いやすいです。



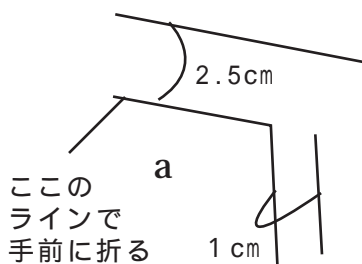
例えば1cmの縫い代つけをする時、スケールの端から1cmのラインに出来上がり線を合わせ、出来上がり線と平行に1cm巾をキープしながら縫い代ラインを入れます。カーブの所は、平行を保ちつつ少しずつ書き進めます。慣れると正確にすばやく綺麗なラインを引く事ができます。

転載や
二次配布
コピー販売は
禁止です

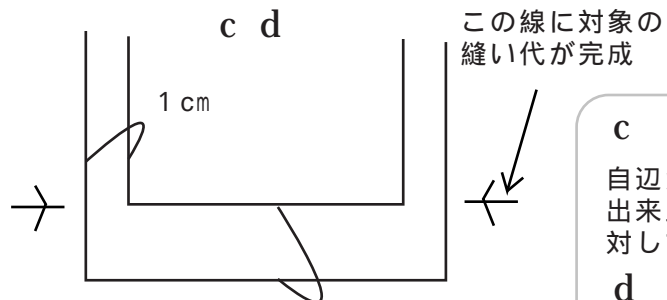
縫い代付けのポイント



右回りにつけていきます。パターンを見ていただくと、大人用ならLサイズ、子ども用なら130の出来上がり線の外側、左図の a~f にあたる部分に、点線で縫い代が入っています。各サイズとも、この形状を参考にしてください。お作りになりたいサイズのラインをまず選びます。次に下図のポイントを見ながら出来上がり線に平行にラインを引いていきます。進んできた方向のラインを「自辺」これから進む方のラインを「隣辺」と表現しています。



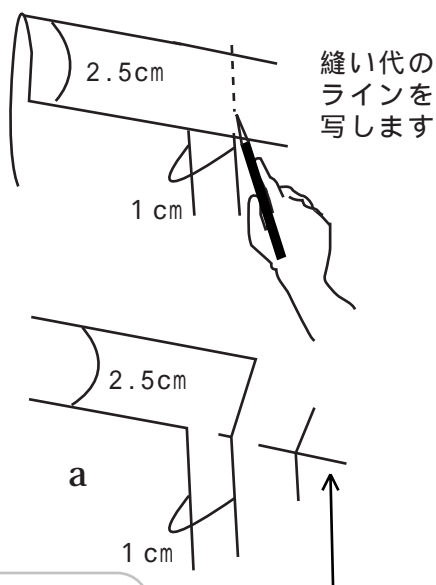
このラインで手前に折る



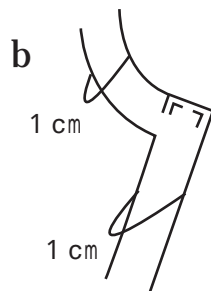
この線に對象の縫い代が完成

c
自辺が隣辺の出来上がり線に対して対称
d
隣辺が自辺の出来上がり線に対して対称

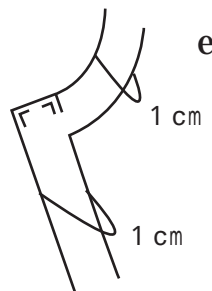
仕様によって縫い代巾を決めてください (パターンにはレースをつけないで普通に折り上げる仕様の縫い代巾 2cmの記載があります)



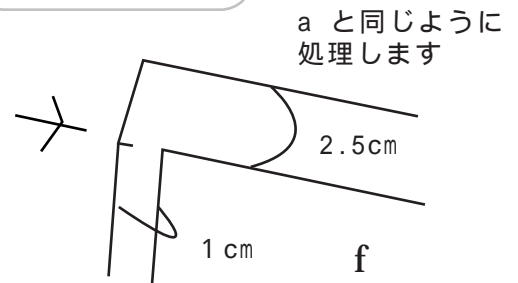
縫い代のラインを写します



b
隣辺が自辺に対して直角



e
自辺が隣辺に対して直角



f
自辺が隣辺の出来上がり線に対して対称

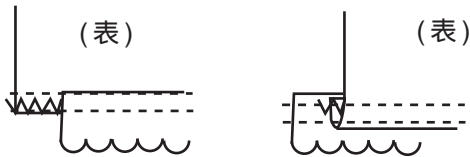
a
隣辺が自辺の出来上がり線に対し対称

この線に對象の縫い代が完成

転載や
二次配布
コピー販売は
禁止です

縫い方手順

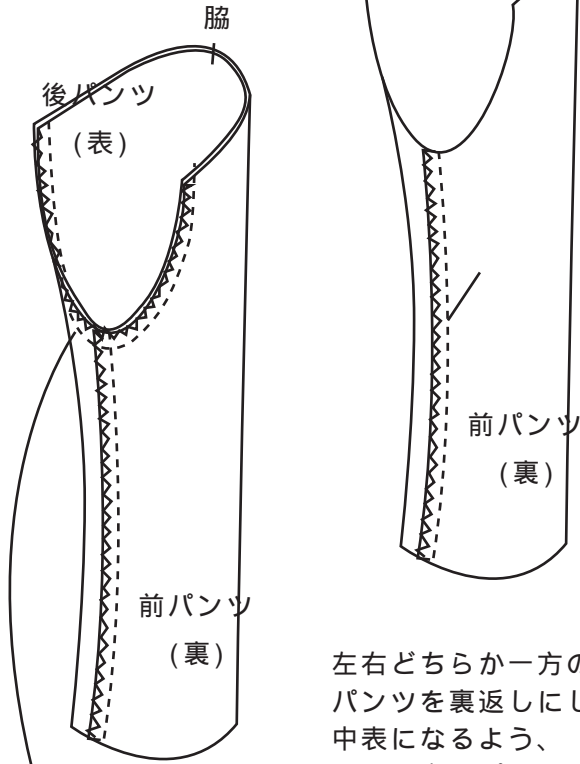
裾にレースをつける場合は最初に
レースをつけます。



表側につける場合
裾をロック(ジグザグ)し
ロックが隠れるように
上からレースを叩きます。

内側につける場合
裾をロックした後、
内側に折りこみ、
下にレースを置いて
ステッチでつけます。

左右パンツそれぞれの股下を縫います
縫い代をロック
(ジグザグ) 始末
縫い代は後ろに
倒します。

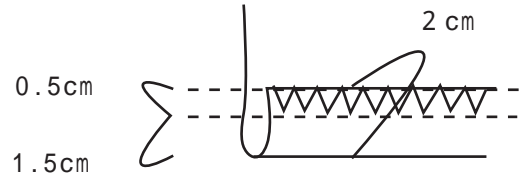


縫い代は左右
どちらか一方に
倒します。

左右どちらか一方の
パンツを裏返しにし
中表になるよう、
もう一方のパンツに
差し込みます。
股ぐりを縫いし、
ロック(ジグザグ)で
始末します。

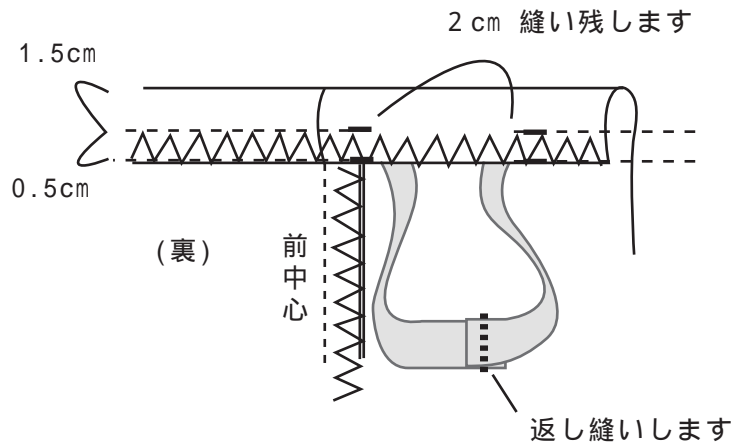
裾始末 裾にレースをつけない場合

裾をロック(ジグザグ)始末し、2cm
折り上げ、ステッチ。



ウエスト始末をします。

縫い代端をロック(ジグザグ)始末し
折り返して、1.5cm + 0.5cmの
2本ステッチします。
前中心あたりで、ゴムを通すために、
2cmくらい縫わないでおきます。



平ゴムを通し、ゴム端を1cmくらい
重ねて縫いとめて完成です。